

基本施策評価表

上下水道ビジョン基本方向	4-1	汚水整備の方針
--------------	-----	---------

基本施策	6	施設の耐震化
------	---	--------

基本施策目標
阪神淡路大震災や東日本大震災などの大規模な地震に耐えられるレベルまで強化を図り、下水道の役割を確保します。

課題名	計画主要施策の概要・取り組み目標	H25年度 実績(成果)	評価
1 施設の耐震化	<p>〔概要〕 大規模地震に耐えられるレベルまで長寿命化と併せ施設の耐震化を図る。</p> <p>〔目標〕 重要な幹線等と汚水中継ポンプ場を対象施設として、流下能力・揚排水機能を確保する。</p>	平成25年度は、耐震診断結果に基づき、Φ200～450mm 約367mの管渠更生工事と、2号人孔7基の浮上防止対策工事及び特殊マンホール1基の耐震補強工事を実施した。	A

基本施策 総合評価	A
-----------	---

<p>評価結果の説明等</p> <p>耐震診断結果に基づき、管渠等耐震補強工事を実施するとともに、下水道地震対策緊急整備計画に引き続き、現行制度に基づく下水道総合地震対策計画を策定し、概ね取り組み目標どおりの成果が得られたことから評価をAとした。</p>

<p>今後の取り組みの方向性・展開方針</p> <p>下水道総合地震対策計画に基づき、平成26年度は、汚水管渠等耐震補強工事として(Φ600mm、約133m)を実施する予定である。 また、平成27年度は、汚水管渠等耐震補強工事として(Φ500mm、約280m)の実施を予定している。</p>
